

「未来技術遺産に顕微鏡が登録されました」

独立行政法人国立科学博物館では平成20年度から重要な科学技術史料（愛称：未来技術遺産）の登録を実施しています。

平成30年度には19件の登録があり、「最高級写真顕微鏡ニューバノックスAHBS」（オリンパス）と「CF方式光学系研究用生物顕微鏡バイオフォト」（ニコン）が新たに未来技術遺産に登録されました。

2014年度の「エム・カテラ」に続いての顕微鏡の未来技術遺産への登録となっています。詳細は添付資料および国立科学博物館のホームページをご参照ください。

（<http://www.kahaku.go.jp/procedure/press/index.php>）



平成 30 年 8 月 21 日
独立行政法人国立科学博物館

平成 30 年度 国立科学博物館 「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」19 件の登録 について

独立行政法人 国立科学博物館（館長：林 良博）は、平成 20 年度から重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）の登録を実施しています（別紙）。

平成 30 年度は、あらたに、1969 年製造のセイコー クォーツアストロン 35SQ など、19 件を登録することとなりました。今回（第 11 回）の登録により合計 259 件の登録となります。

なお、今回登録される資料の所有者をお招きした登録証及び記念盾の授与式と、パネル展示（一部実物資料を展示）についても開催いたします。

つきましては、下記広報について、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 「重要科学技術史資料」 別紙一覧の 19 件
- 「重要科学技術史資料」登録証及び記念盾授与式

期 日 平成 30 年 8 月 28 日（火）
会 場 国立科学博物館 日本館 2 階 講堂
東京都台東区上野公園 7-20
次 第 14:00～ 受付
14:30 開式
国立科学博物館長挨拶
重要科学技術史資料登録委員会委員長挨拶
14:45 登録証及び記念盾授与
15:20 閉式（閉式後、集合写真撮影／パネル展示見学）

■ パネル展示（一部実物資料を展示）

期 日 8 月 28 日（火）～9 月 9 日（日）
会 場 国立科学博物館 日本館 1 階 中央ホール
(注、一部実物資料の展示は 8 月 28 日～9 月 2 日のみ。)

※登録資料のデジタル写真をご希望の方は、使用目的等お書き添えの上、下記、E-mail アドレスにご連絡ください。（10 月末までご請求いただけます。）

※8 月 28 日（火）授与式等でのご取材の場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館
産業技術史資料情報センター 担当：久保田・亀井・高江洲
〒305-0005 つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館 筑波研究施設内 産業技術史資料情報センター
E-mail: sts2006@kahaku.go.jp
TEL: 029-853-8394(代表) FAX: 029-853-8492 http://sts.kahaku.go.jp/

重要科学技術史資料 一覧

番号	写真例	名称	所有者	製作年
第00241号		FACOM128B および関連資料 — 日本のコンピュータ黎明期を牽引したリレー式計算機 —	富士通 株式会社	1959
第00242号		ボトル自販機 V-63 — 広く日本国内に普及した飲料用自販機 —	コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン 株式会社	1962～ 1969頃
第00243号		FinePix4700Z — 世界初のハニカム構造 CCD 搭載デジカメ —	富士フイルム 株式会社	2000
第00244号	表 裏 	ヘリカルスキャン試行実験天板 — ヘリカルスキャン方式 CT の実現に道を開いた実験器具 —	藤田保健 衛生大学	1988
第00245号		小型オープンリール・テープレコーダ RQ-303 「マイソニック」 — テープレコーダ市場を大きく拡大した1万円テレコ —	パナソニック 株式会社	1963
第00246号		アイソレートループ方式オープンリール・テープデッキ RS-1500U — ユニークなテープパス系と DD 大径キャプスタンを装備した高級テープデッキ —	パナソニック 株式会社	1976
第00247号		最高級写真顕微鏡 ニューバノックス AHBS — 世界初の AF を含む自動化を実現した画期的顕微鏡システム —	オリンパス 株式会社	1983
第00248号		CF 方式光学系研究用生物顕微鏡 バイオフォト — 世界初の CF 方式光学系による顕微鏡性能の飛躍的向上 —	株式会社 ニコン	1976

世界初のAFを含む自動化を実現した画期的顕微鏡システム

登録番号	第 00247 号
名称 (型式等)	最高級写真顕微鏡 ニューバノックスAHBS
所在地	東京都八王子市
	オリンパス技術歴史館「瑞古洞」
所有者 (管理者)	オリンパス株式会社
製作者(社)	オリンパス光学工業株式会社 (現：オリンパス株式会社)
製作年	1983年
初出年	1983年
選定理由	高性能の新光学系を搭載し、さまざまな観察法に対応したシステム性を有する万能顕微鏡である。本体を構成する光学系は、歴代顕微鏡の中でも最も複雑なものの一つであり、世界初の顕微鏡オートフォーカス機構をはじめ、照明系自動切換え・自動調節、各種操作の電動化を実現し、最良の顕微鏡写真を撮る各種機能を組み込んだ画期的な顕微鏡システムとして重要である。
登録基準	ーイ(科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	

世界初のCF方式光学系による顕微鏡性能の飛躍的向上

登録番号	第 00248 号
名称 (型式等)	CF方式光学系研究用生物顕微鏡 バイオフォト
所在地	埼玉県熊谷市 株式会社ニコン
所有者 (管理者)	株式会社ニコン
製作者(社)	日本光学工業株式会社 (現：株式会社ニコン)
製作年	1976年
初出年	1976年
選定理由	バイオフォトに採用されたCF方式(Chromatic aberration Free system)は、対物レンズの倍率色収差を対物レンズ自体で補正するもので、従来常識であった、対物レンズで補正するのが難しい倍率色収差を接眼レンズで補正するコンペンセーション方式にかわる、新しいレンズ設計思想である。このCF方式による対物レンズの製品化は世界初であり、「100年ぶりの技術革新」として、顕微鏡の性能が飛躍的に向上した。バイオフォトは、このCF方式光学系を採用した最初の研究用生物顕微鏡として重要である。
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの) 一ーロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの)

公開・非公開	非公開
写真	  <p>CFプランアクロマート対物レンズ</p>  <p>CFプランアポクロマート対物レンズ</p>
その他参考となるべき事項	